

⑪ 公開実用新案公報 (U)

昭55—80512

⑫ Int. Cl.³
F 16 B 23/00

識別記号

庁内整理番号
6673—3J

⑬ 公開 昭和55年(1980)6月3日

審査請求 未請求

(全 5 頁)

⑭ わ じ

⑮ 実 願 昭53—166514

⑯ 出 願 昭53(1978)11月29日

⑰ 考 案 者 岡田弘之

綾部市岡町堂ノ前18番地

⑱ 出 願 人 日東精工株式会社

綾部市井倉町梅ヶ畑20番地

⑲ 実用新案登録請求の範囲

- (1) ワークにわじ込まれる脚部3と、この脚部3にわじ込みトルクを付与するビット4が係合する穴を有する頭部1とから成るわじにおいて、頭部に軸心に沿つて脚部上面から下方に向つて徐々に小径となる円錐穴10を凹設し、この円錐穴10の周面上に等間隔をおいて複数個の溝20を形成し、わじ込み方向への回転時にビット4の羽根40と接触する側の側壁22を前記軸心に直角に交差する面にほぼ直立させたことを特徴とするわじ。
- (2) 溝は4個形成されていることを特徴とする実用新案登録請求の範囲第1項記載のわじ。
- (3) 溝はほぼ直立した両側壁22, 23を有していることを特徴とする実用新案登録請求の範囲第1項又は第2項記載のわじ。
- (4) 溝は一方に直立した側壁22aを、他方に傾斜した側壁23aを有していることを特徴とする実用新案登録請求の範囲第1項又は第2項記載のわじ。
- (5) 溝は鋭角状に切欠いた構成であることを特徴とする実用新案登録請求の範囲第1項又は第2項記載のわじ。
- (6) 溝は円錐穴の深さの1/2～1/3の程度の深さに下端面24cを有していることを特徴とする実用新案登録請求の範囲第1項、第2項、

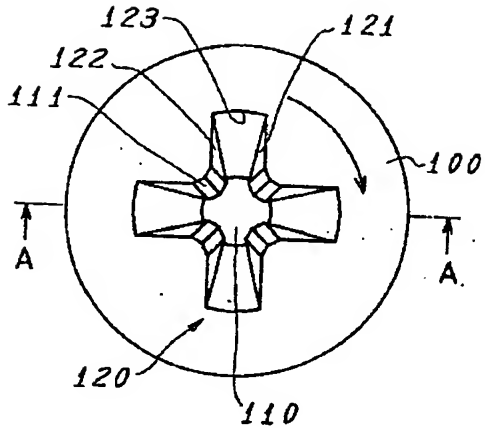
第3項、第4項又は第5項記載のわじ。

図面の簡単な説明

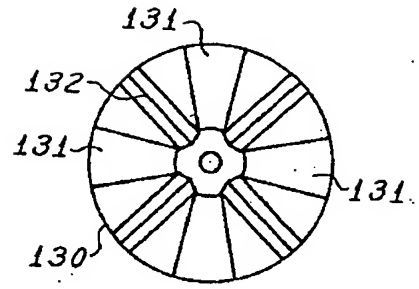
第1図は従来の脚部の穴を有するわじの平面図、第2図は第1図のA—A線における要部断面図、第3図はこのわじに使用するビットの正面図、第4図は第3図の側面図、第5図は本考案の一実施例を示すわじの平面図、第6図は第5図のB—B線における要部断面図、第7図はこのわじに使用するビットの正面図、第8図は第7図の側面図、第9図は本考案の他の実施例を示すわじの平面図、第10図は第9図のC—C線における要部断面図、第11図はこのわじに使用するビットの正面図、第12図は第11図の側面図、第13図は本考案のもう一つの他の実施例を示すわじの平面図、第14図は第13図のD—D線における要部断面図、第15図は本考案の更にもう一つの他の実施例を示すわじの平面図、第16図は第15図のE—E線における要部断面図である。

1, 1a, 1b, 1cは頭部、10, 10a, 10b, 10cは円錐穴、11は斜面、20, 20a, 20b, 20cは溝、21, 21a, 21b, 21cは底面、22, 22a, 22b, 22c, 23, 23a, 23b, 23cは側壁、24cは下端面、3は脚部、4, 4aはビット、40, 40aは羽根、41, 41a, 42, 42aは側面、43, 43aは円錐面。

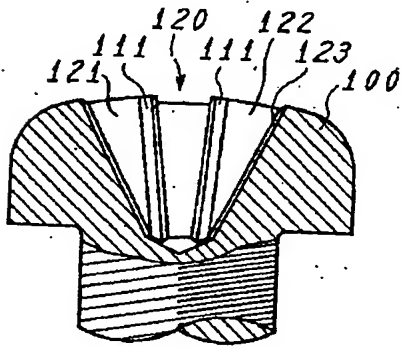
第1図



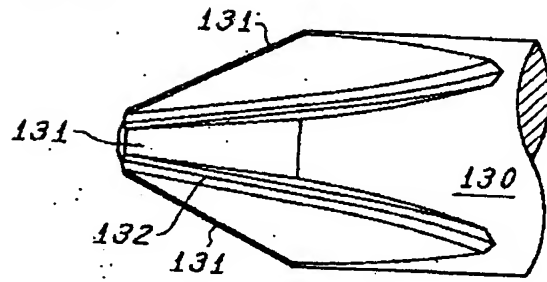
第3図



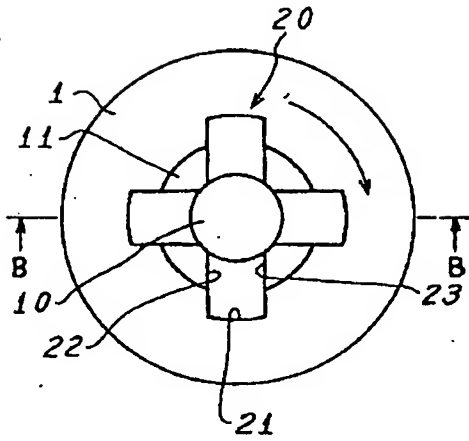
第2図



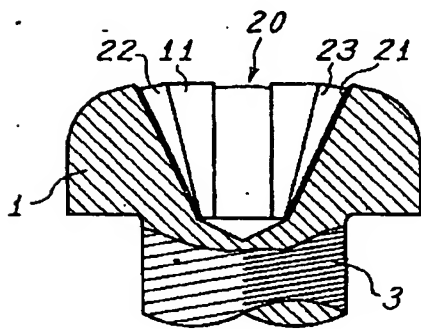
第4図



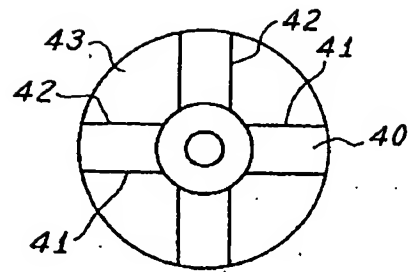
第5図



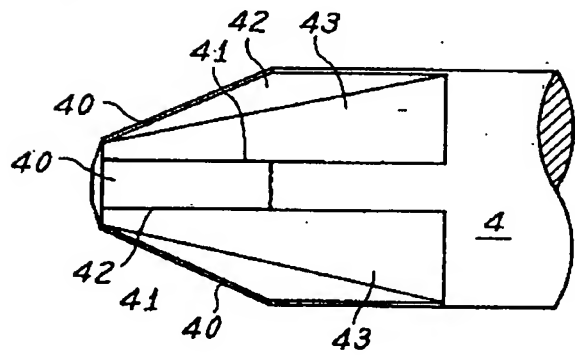
第6図



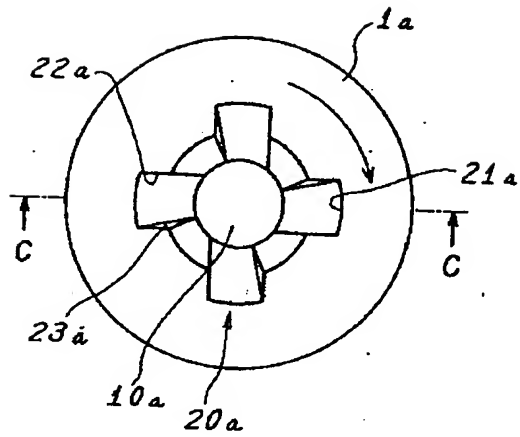
第7図



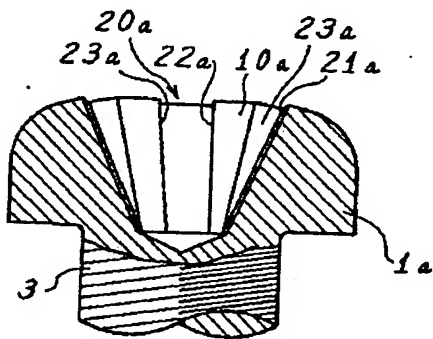
第8図



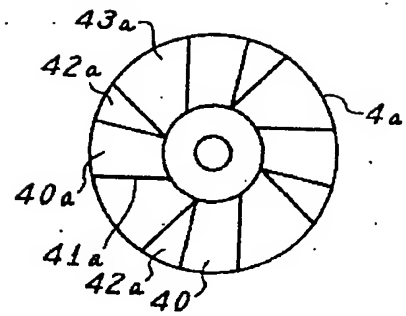
第9図



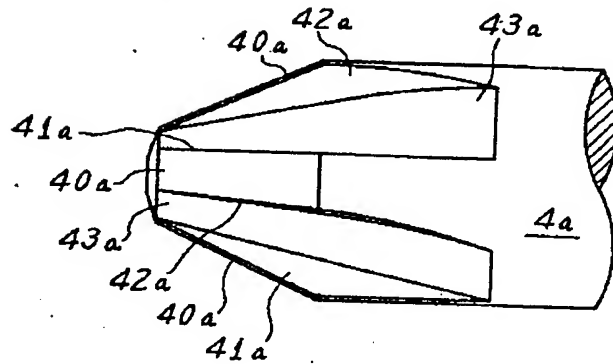
第10図



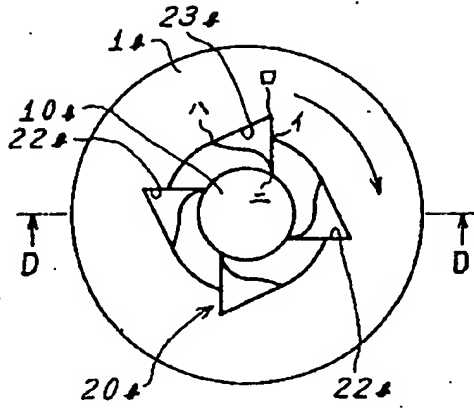
第11図



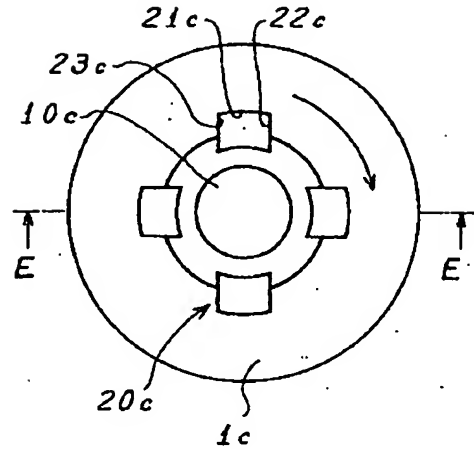
第12図



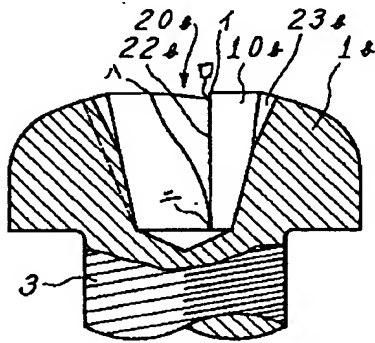
第13図



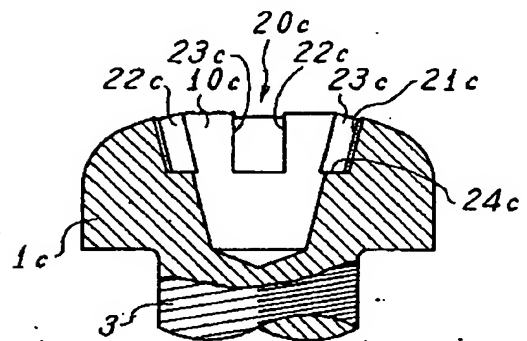
第15図



第14図



第16図



昭和53年実願第1614号(実開昭55-80512号、昭和55年6月3日発行公開実用新案公報55-806号掲載)については実用新案法第55条第2項において準用する特許法第17条の2の規定による補正があつたので下記のとおり掲載する。

Int.Cl.³
F 16 B 23/00

識別記号 庁内整理番号
7526-3J

記

1 実用新案登録請求の範囲を次のように補正する。

⑥実用新案登録請求の範囲

- 1) ワークにねじ込まれる脚部3と、この脚部3にねじ込みトルクを付与するビット4に係合する穴を有する頭部1とから成るねじにおいて、頭部に軸心に沿つて頭部上面から下方に向つて徐々に小径となる円錐穴10を凹設し、この円錐穴10の周面上に等間隔をおいて複数個の溝20を形成したことを特徴とするねじ。
- 2) 溝は4個形成されていることを特徴とする実用新案登録請求の範囲第1項記載のねじ。
- 3) 溝はほぼ直立した両側壁22、23を有していることを特徴とする実用新案登録請求の範囲第1項又は第2項記載のねじ。
- 4) 溝は一方に直立した側壁22aを、他方に傾斜した側壁23aを有していることを特徴とする実用新案登録請求の範囲第1項又は第2項記載のねじ。
- 5) 溝は鋭角状に切欠いた構成であることを特徴とする実用新案登録請求の範囲第1項又は第2項記載のねじ。
- 6) 溝は円錐穴の深さ1/2～1/3程度の深さに下端面24cを有していることを特徴とする実用新案登録請求の範囲第1項、第2項、第3項、第4項又は第5項記載のねじ。